

15 インフラメンテナンス予算の確保について

長野県の状況

【国土交通省】

● 老朽化する社会基盤施設の適切な維持管理・更新が急務

- ・ 建設後50年を経過する社会基盤施設が、2033年には道路橋の約63%、トンネルの約42%、河川管理施設の約62%、下水道管渠の約21%、基幹的農業水利施設の約44%に達する見込み
- ・ 今後も社会基盤施設を適切に維持管理していくためには、**予防保全の考えに基づいたメンテナンス**を行うことが重要
- ・ **着実に進行する社会基盤施設の老朽化**に対応するためには、膨大な予算が必要となることから、インフラメンテナンスのための**財源確保の議論**が必要

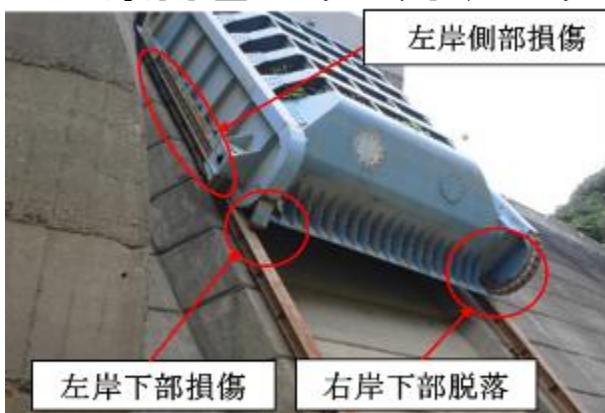
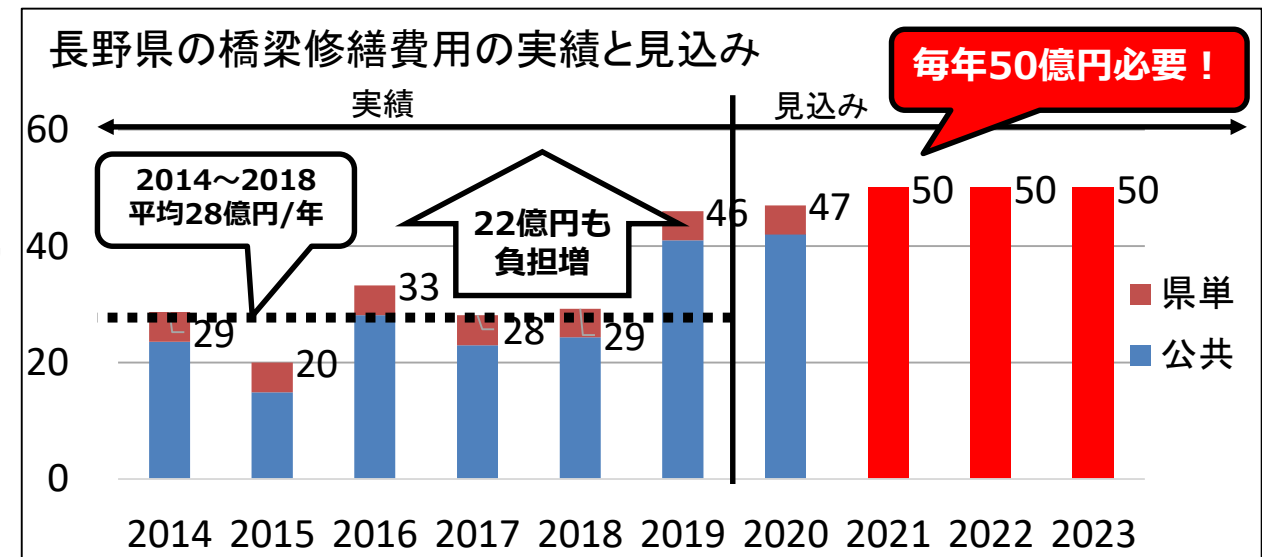
取組

○ 道路施設

- ・ 橋梁・トンネル等の法定点検は平成30年度で一巡目が完了
- ・ 橋梁では約25%が早期に措置を講ずべき状態
- ・ 今後5年間で、県管理橋梁の約900橋もの修繕が必要な状況
- ・ 約900橋の修繕費用は、およそ**250億円**
- ・ 5年間で完了させるためには、**年間50億円**の予算が必要
- ・ 舗装等の法定点検対象外施設も、修繕が喫緊の課題

○ 河川施設

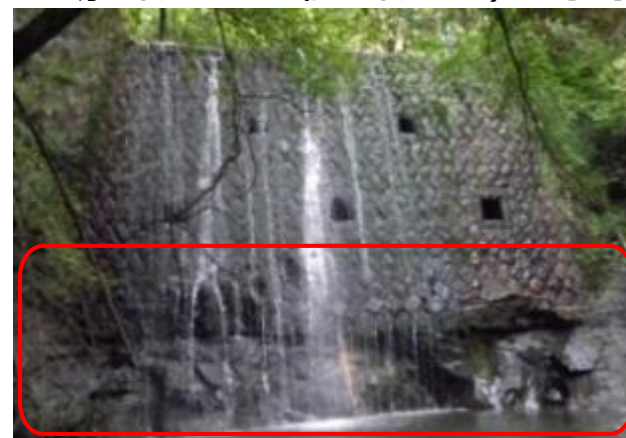
- ・ ダム等の重要河川施設の**長寿命化計画**を策定
⇒ **予算の不足により計画に沿った維持管理・更新に遅れ**
- ・ 計画を上回るスピードで貯水池内の堆砂が進行し、**早急な堆砂対策が必要**
県管理17ダム中、4ダム（裾花ダム、奥裾花ダム、湯川ダム、松川ダム）で計画堆砂ダム100%超え



裾花ダム2号予備ゲートの老朽化状況



奥裾花ダムの堆砂状況



砂防堰堤の基礎洗掘



橋梁の桁のひび割れ、腐食

○砂防施設

- ・平成30年7月豪雨を受け、**石積砂防堰堤の緊急改修**を実施
- ・**緊急浚渫推進事業債**を最大限活用し、堆積土砂の浚渫を実施

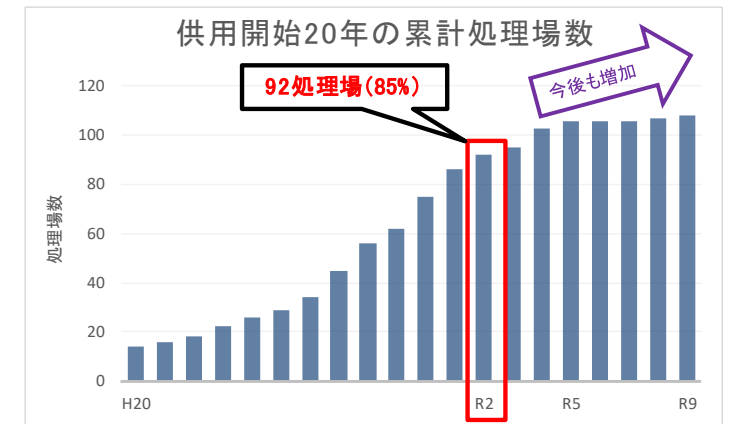
○下水道施設

- ・**下水処理場は代替がきかない施設**のため、故障は日常生活や社会活動に**重大な影響**
- ・県内の処理場は108(全国第3位)あり、**約8割が耐用年数超過**

○公園施設

- ・**公園施設老朽化対策**を県内23市町村と共に実施

【下水道】



遊具の老朽化状況



課題

- **着実に進行するインフラの老朽化対策**を行っていくためには、**予防保全に基づくメンテナンスサイクル**を徹底し、**ライフサイクルコストを一層低減**させることが必要
- 予防保全に基づき、**適切かつ計画的な維持管理・更新**を進めて行くためには**膨大な予算の確保**が必要

『骨太の方針2020』では、社会資本整備について「デジタル化・スマート化を原則とした、**抜本的な生産性向上や予防保全の高度化・効率化による長寿命化、集約等**を通じた**公的ストックの適正化**を図る。」とされている

提案・要望

インフラの長寿命化対策への支援

地方公共団体が、予防保全の観点から**インフラの長寿命化対策**を着実に進められるよう、**新たな財源を確保**し、適切な**財政支援**を行うこと